

事例紹介シート

①学校名	京都府立桂高等学校
②教科・領域 科目等	保育基礎
③単元名	子どもと遊び
④目標	発達に応じたおもちゃを知ることができる。
⑤受講者	3年生普通科 KD コース保育基礎選択者
⑥連携先	キッズいわき ぱふ
⑦内容 ・取組の特徴 や工夫 等	<p>1 <u>おもちゃで遊ぼう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェラートづくり ・カードゲーム <p>2 <u>子どもの発達と遊びの必要性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを成長させるのは「勉強」？「遊び」？ ・おもちゃ研究のきっかけ、ドイツのおもちゃから学んだこと ・「ゲーム」と聞いて思い浮かべるものは？一国や文化のちがいを <p>3 <u>日本の子育ての文化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長、学びの基本は「よく見る」「よく聞く」「よくまねる」 ・手先の微調整が「創造力」を育む。 →おりがみやメンコなど「遊び」の重要性 ・「豊かな生活体験」を土台に、身近な人による応答的関わりによってそれらが「言語化」され、「記号化」された学びに到達する。 →〈現代の日本の子育て〉 子どもをバーチャルの世界へ 土台となる体験、人との関わりも乏しい現状への危惧 ・「よく見」ていないと「まね」できない。 →身近に子どもが少ない状況では、子どもを育てようという発想にならない。 ・人も、子育ても「十人十色」 →子育ての色々な悩みは、すでに先祖が解決している。だから相談したら誰かが教えてくれる。保護者だけで育てるのではなく、世の中みんなです。 ・目指すところは「幸せに生きること」 →生まれてきたことを喜んで、自分に与えられた能力を使う。
⑧成果・生徒 の感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・最近ではテレビを見たり、家で遊ぶことが多いけれど、子どもにとっては五感で学んだり、自然に触れて学んだりすることが大切だと思いました。ドイツの教育への考え方やおもちゃが素敵だなと思いました。 ・岩城さんが「あなたたちが18年間生きてきて悩むようなことは、すでに誰かが解決済みです。」と言っていてすごく感動しました。子育てとおもちゃに関する授業でしたが、それ以上に私たちの将来に役立つようなお話をさせていただいて良かったです。 ・自分のペースで我が子と向き合っ子育てをしていきたいと思いました。たくさんおしゃべりして、おもちゃで遊んで楽しい子育てをしたいと思いました。